

2019年3月13日

## 2019年度事業計画(保育事業部)

部長 榮木 俊枝

部長 山口 貴子

○ 保育理念(事業部使命)

身近な大人との愛着関係を基盤に、受容性から好奇心・探求心へ、さらに主体性を持って成長する子を育みます。

○ 保育方針

保育園に集うたくさんのお親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園は、「出会う」「見る」「聴く」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくれます。

○ 保育目標

和と輪と話を実践する子ども

○ 2019-2021 保育事業部3ヶ年ビジョン

ひまわりの遊びこそが教育「サンフラワーメソッド」の確立

○ 2019 保育事業部ビジョン

保育の土台作りと定義づけで安心してすごせるひまわり

○ 2019 保育事業部戦略

10園の土台作りと方向性の管理(10園の自立&自走)

2019年度、保育事業部は職員の充足率120%を目標として掲げます。そのために採用活動には、支援部門からの協力を得て活動を強化し、既存職員に対しては、安心して働ける環境整備をします。まずは各施設が、安全を担保した運営を行うために、保育業務、環境整備の行動基準を作成し、その上で、昨年度までに整備してきた「ひまわりの保育」の考え方を展開します。また、園長による職員面談も、人材育成を観点に定期的に行います。事業部は、部長2名、部長補佐2名と体制を強化し、各園の取り組みの進捗を確認しながら、目指す方向に10園を向け、管理や支援に力を入れます。ひまわりの保育の基礎、目指す運営の方法も各園の実践から形になってきています。モデルとなる取り組みを、10園に展開できるよう事業部の機能を果たします。

社会福祉法人ひまわり福祉会 平成 31 年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン大原

はじめに

平成 30 年度は行事や活動などの意味を考えながら、各年齢にあった取り組みについて1つ1つ振り返りながら進めて参りました。いままで行なってきた日常の保育の中の「なぜ？どうして」を現状の子どもの姿に合わせて話し合いを重ねていくことで職員間での意見も関連になりその都度、疑問に思ったことなどを挙げる姿が見られました。

平成 31 年度も保育の中での「なぜ？どうして？」を考えていくとともに、新たなチーム体制のもとに職員間でのコミュニケーションを丁寧に行いながらチーム力を高めていきたいと思ひます。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
もも組	0歳	2	6	
たんぼぼ組	1歳	2	6	
ちゅうりっぷ組	2歳	1	6	
すみれ組	3歳	1	6	
ゆり組	4歳	1	6	4歳、5歳は合同保育
ひまわり組	5歳		6	

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290日
24	22	25	26	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	25	

③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- i. 日常養護・健康管理
  - ・保育士、看護師による視診。
  - ・午睡後の検温、午睡後の巡回、睡眠中の観察(睡眠チェック)
  - ・健康管理カードをもとに健康管理をする
- ii. 病気の予防と早期発見
  - ・日常の手洗い、うがいを励行
  - ・電解水を使用し、玄関での手指消毒を行う
  - ・SIDS予防(睡眠チェック)
  - ・感染症発生時には掲示にて注意を促す
- iii. 安全と事故防止
  - ・学校 110 番の設置
  - ・玄関ドアは常に施錠し、モニターで確認。オートロック開閉
  - ・家具などに転倒防止具を取り付け、角部分には保護ガードを貼る
  - ・監視モニターを設置し午睡時の安全強化を図る
- iv. 健康増進と保健指導
  - ・ほけんだよりにて健康情報や流行している感染症などについて発信する。
  - ・手洗い、うがい、鼻のかみ方の指導
- v. 環境衛生
  - ・保育室の室温、湿度、換気、採光、騒音などの環境に配慮する。
  - ・園舎内は電解水を用いて清掃
  - ・1歳以上はコットベッド、0歳児用午睡布団は丸洗いをを行う(年2回)
  - ・害虫駆除(年2回)
  - ・0歳児は毎日2回、1歳児以上は週1回遊具消毒を行なう。
  - ・トイレクリーニングの実施(年1回)

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児(月2回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
ぎょう虫検査	実施なし
視力検査	実施なし
歯科健診	全園児(年2回)
尿検査	実施なし

④ 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に、「受容性」から「好奇心・探究心」へ、さらに主体性を持って成長する子を育みます。

受容性:人から受容される経験を通して、相手を受容するようになる

好奇心・探究心:さまざまなことへの興味関心が高まる

主体性:自ら考えて行動するようになる

⑤ 保育指針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々とともに暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聞く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場を作ります。

⑥ 各組の保育目標

ひまわり組(5歳児)

- ・一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう。
- ・身体や栄養、病気などに関心をもち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に行動する。
- ・体験したことや自分の思いを相手に分るように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調節しようとする。

ゆり組(4歳児)

- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。
- ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。
- ・人の話に興味を持って聞いたり自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題にあわせて意識して身体を動かすようになる。

すみれ組(3歳児)

- ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
- ・生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地良さを味わう。

- ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。

#### ちゅうりっぷ組(2歳児)

- ・自己主張を十分に受け入れてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう。
- ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ。

#### たんぽぽ組(1歳児)

- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。

#### もも組(0歳児)

- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む。
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む。

### ⑦ 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会
4月	入園・進級お祝い会、保護者会
5月	こどもの日の集い、給食試食会、田植え遠足(4, 5歳児)
6月	農業体験、(5歳児)、個別面談(新入園児及び希望者)
7月	七夕、お泊り保育(4, 5歳児)
8月	卒園児交流会、プール
9月	引渡し訓練、敬老お祝い会、親子自然体験(4歳児、5歳児園児と希望のある保護者)、保護者会
10月	3園合同運動会、芋掘り遠足(4, 5歳児)
11月	個別面談(全園児)
12月	お遊戯会、クリスマス会、もちつき会
1月	正月遊び、お店屋さんごっこ、5歳児個別面談
2月	節分会、おもてなし会、保護者会
3月	ひなまつり会、お別れ遠足(5歳児)、お別れ会、卒園式

⑧ 食事

i. 目標

「丈夫な体、豊かな心を育む食経験をを通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをするとともに、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加し、栄養摂取量表を確認する。  
(献立会議月 1 回、食育会議月 1 回、離乳食・アレルギー食の打合わせは随時)

iii. 食育

食育は毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもたちに成長していくことを期待するものである。  
そのために乳幼児には食域を広げ、子どもたちの食への興味を引き出すことを食育の目的とし「毎日食育」をベースに、企画する食育活動を加えて展開していく。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届けを通して実施状況を確認。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	562	21.7	19.9	218	2.1	252	0.34	0.35	37

vi. その他

初期食 3 食、中期食 1 食、後期食 2 食  
アレルギー児 1 名

⑧ 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 年1回 日付は未定  
 非常災害時の避難訓練 ( 毎月 1日)  
 引き渡し訓練 ( 9月 1日)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	7名	
調理員(栄養士含)	2名	
看護師	1名	
用務員	0名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	7名	

② 健康管理

健康診断 年1回(8月～11月)  
 細菌検査 年 12回  
 \*給食担当は 24回

③ 職員会議

職員会議 年12回 乳児会議年12回 幼児会議年12回 各クラス会議年24回  
 非正規職員会議 年12回

④ 研修計画

- ・職員個別に研修計画を策定
- ・行政主催の研修会への参加
- ・保育団体主催の研修会への参加
- ・法人、事業部等主催の研修会への参加
- ・園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

- ・施設における現金の管理は経理規定に従って行う。
- ・現金収支は小口現金出納帳にて行う。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・毎月の収支は資金収支予算実績報告書をもとに管理する。
- ・延長保育料金等については毎月末締めとし翌月はじめに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行う。
- ・給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。
- ・嘱託医への支払いは契約書をもとに行う。

(2) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

固定遊具なし

屋上のシート張替え工事

トイレクリーニングの実施

(3) 備品関係

① 備品購入予定

デジタルカメラ等

② 保育用品購入予定

絵本、玩具、運動用品、保育材料等

③ 給食用品購入予定

食具、調理器具等、厨房機器の保守点検

④ 固定資産物品購入予定

屋上シートの張替え工事

(4) 災害対策

① 避難訓練

年間12回実施(内1回は保護者参加の引渡し訓練)

② 防災設備の点検委託

年間2回実施

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分

消費期限点検

3. 保護者へむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

① 保育士体験

1日保育士体験を行なう。集団の中での子どもの様子を知り、保育内容への理解を深めてもらう機会とする。

② 保護者会(年3回、個別面談1回、5歳児は3回)



クラスごとに年3回行い、年齢ごとの保育目標や、子どもの姿や発達を知っていただく。  
保護者同士が懇談できる時間をつくり、子育ての情報交換や相談が活発になるように  
する。

③ 通信(お便り)

園だより(月1回)…園全体や地域に関わる情報などを発信する

クラスだより(月1回)…学年毎の発達、育児情報、お知らせ、お願いなどを発信する

ほげんだより(月1回)…保健に関する情報を発信する

給食だより(月1回)…乳幼児期の食生活について園と家庭の架け橋となる内容を発信する

4. 地域社会との連携

- ・町会への加入
- ・ガーデンフォーラムの防災訓練への参加
- ・近隣小学校との交流
- ・高齢者施設への月1回の訪問。

5. その他

- ・第三者評価の受審
- ・年1回、トイレクリーニングの実施

社会福祉法人ひまわり福祉会 平成 31 年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン志村

はじめに

昨年度は、主要メンバー(主任・主任補佐)が入れ替わり、マニュアルを見直したり、保育計画に沿った内容での保育が進められているかというところなどを確認しながら保育を進めて参りました。

平成 31 年度は新たに主任が変更となり、主任補佐が育児休暇から戻り、チームとして新たなスタートとなります。再度、園でのルールや保育のマナーなど、会議の中で確認する場を多く設けながら、個々の思いや感じたことを相手に伝えられるような職員の関係性を築きたいと思っております。

また、複合施設「ここから」の保育園だからこそ出来る日常の高齢者と子どもたちの関わりを深めこの園ならではの特色に今一步踏み込み互いにこよひの心地よい場となっていけたらと考えております。また、地域に住む方からは「あの園に入りたい!」と思っただけのような保育園を目指します。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
もも	0歳	2	6	
たんぽぽ	1歳	2	8	要支援児 1 名含む
ちゅうりっぷ	2歳	2	10	
すみれ	3歳	1	10	
ゆり	4歳	1	10	
ひまわり	5歳	1	10	要支援児 1 名含む

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290 日
24	22	25	26	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	25	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・ 健康管理カードをもとに個々の健康観察と管理
- ・ 看護師による日々の巡回と子どもの視診を定期的に行い健康状況の把握を行なう

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・ 園の玄関前に電解水を置き来訪者には必ず除菌、消毒を行なって入室して頂く
- ・ 感染症が発症した際には掲示等で保護者に知らせ注意を促す。

#### iii. 安全と事故防止

学校 110 番の設置。

家具等は転倒防止具をつける。柱、角の部分には保護ガードをつける。

事故防止マニュアルを作成し安全策を図る。

SIDS の防止(午睡時睡眠チェック 0 歳児:5 分間隔、1~2 歳児:10 分間隔、3~5 歳児:15 分間隔)

監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する。

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・ 保健便りを毎月発行し、健康情報や保健指導を行なう。

#### v. 環境衛生

- ・ 害虫駆除は年 2 回業者に委託。
- ・ 午睡用の布団は乾燥、丸洗いを定期的実施。
- ・ 園舎内、トイレ清掃については電解水を使用しマニュアルに沿って行なう。
- ・ 遊具、玩具の消毒については定期的に行い、0 歳児用は 1 日 2 回以上行なう。
- ・ 感染症流行期には電解水を用いて室内の消毒を行なう。
- ・ 年に 1 回、トイレクリーニング・コーティングを実施。

#### 年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	
眼科健診	
視力検査	
歯科健診	全園児 (年2回)
尿検査	

④ 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

⑤ 保育方針

保育園に集うたくさんのお親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

⑥ 各年齢の保育目標

ひまわり組(5歳児)

- ・一つの目的意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう
- ・身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する
- ・体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする

ゆり組(4歳児)

- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
- ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける
- ・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる

すみれ組(3歳児)

- ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする
- ・生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう
- ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する

ちゅうりっぷ組(2歳児)

- ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう
- ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ

たんぽぽ組(1歳児)

- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む

もも組(0歳児)

- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む

⑦ 主な年間行事予定

月例行事	誕生会、避難訓練、身体測定
4月	入園・進級お祝い会
5月	田植え遠足、給食試食会、保護者会
6月	個別面談
7月	七夕、お泊まり保育、農業体験、お楽しみ会
8月	プール
9月	引き渡し避難訓練、親子自然体験、敬老お祝い会、保護者会
10月	運動会、さつまいも掘り
11月	個別面談、作品展
12月	おゆうぎ会、クリスマス会、もちつき会
1月	個別面談(5歳児)
2月	節分の会、保護者会、お楽しみ食堂、子どもシアター(5歳児)
3月	ひなまつりの会、お別れ遠足、5歳児保護者会、お別れ会、卒園式

⑧ 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験を通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していくことを期待するものです。そのために乳幼児期には職域を広げ、子どもの達の食への興味を引き出すことを食育の目的とし毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。食育会議を毎月開催。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届けを通して実施状況を確認

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A	B1	B2	C
						μg	mg	mg	mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	562	21.7	19.9	218	2.1	252	0.34	0.35	37

vi. その他

離乳食 初期食 2名 中期食 2名 後期食 2名  
アレルギー児対応 1名

⑨ 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (4月)

非常災害時の避難訓練 (月1回)

引き渡し訓練 (9月2日)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
副園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	8名	
調理員(栄養士含)	2名	(業務委託)
看護師	1名	(非常勤)
用務員	0名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	8名	

② 健康管理

健康診断 年1回

細菌検査 年12回

\*給食担当は 24回

③ 職員会議

職員会議 12回

ここから会議 12回

乳児会議 12回 幼児会議 12回

④ 研修計画

事業部研修への参加・・・全員が同じ研修に参加することで学びを共有する

職員個別に研修計画を策定(年間でつけたい力)

行政主催の研修参加(年間計画に基づき個々に必要なスキルを身につける)

保育団体主催の研修への参加

法人、事業部主催の研修への参加

園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

- ・ 施設における現金の管理は経理規定に従って行なう。
- ・ 現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行なう。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・ 毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行なう
- ・ 延長保育料金等については毎月末締めとし翌月初めに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行なう。
- ・ 給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。
- ・ 嘱託医への支払いは契約書をもとに行なう。

(2) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

固定遊具特になし

施設整備点検・毎月実施

② 施設整備計画

幼児室の凹み部分を塞ぐ修繕

幼児室のエアコンの入れ替え

(3) 備品関係

① 備品購入予定

スチームコンベクション

② 保育用品購入予定

絵本、玩具、運動用品、保育材料等

③ 給食用品購入予定

食具、調理器具等

④ 固定資産物品購入予定

特になし

(4) 災害対策

① 避難訓練

年間 12回実施 (年2回 建物全体 合同訓練実施)

② 防災設備の点検委託

年間 2回実施 (9月、3月)

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分

備蓄品の点検と追加購入

消費期限点検(4月・9月実施)



### 3. 保護者へむけて

#### (1) 保育への理解と協力の促進

##### ① 一日保育士体験

子ども達が園でどのような生活を送っているのか、またクラス全体の様子なども知ってもらう  
開催 2 週間前から、クラス前に掲示し、記名してもらう。

年 2 回(5・11 月)、期間を設けているが、基本的には随時。

##### ② 保護者会

保護者懇談会(年 3 回程度実施)・・・園の保育の理解、子どもの姿、発達を知る。

個別面談の実施(年 2 回程度)・・・園での子どもの様子、家庭での様子、子育て観の共有  
給食試食会・・・ひまわりの食に対する思いや給食へのこだわりを伝える場とする。

##### ③ 通信(お便り)

毎月 1 日に園便り・各クラスお便り・ほけん便り、月 1 回給食便り、その他行事毎に発行。

### 4. 地域社会との連携

- ・ 町会への加入
- ・ 小学校との連携 (年 2 回)
- ・ 小学校の先生をお招きしての育児講座
- ・ 就学を控えた 5 歳児の学校訪問、交流会への参加

### 5. その他

- ・ 第三者評価受審予定

はじめに

30年度は、「子どもが持っている“自ら成長しようとする力”が発揮できるように、職員各人の役割と責任の下、チームの成果があがる人間関係を構築する」ことを目標に取り組んできました。子どもの育ちは、保育園だけでなく家庭の育ちも含め、園と家庭が連携し一緒に子育てや成長を共有することが大切であり、保護者会や個別面談等の内容充実に努め子どもの育ちを積極的に発信してきた一年でした。

2019年度はこの取り組みを継続しながら、ひまわりの保育の考え方に基づき作成された事業部共通月案をもとに、子どもの育ちや保育者の関わり、環境設定について、さらに学びを深めてまいります。また、保育を振り返る視点をそろえて、子どもの育ちと保育者の関わり、両側面を職員全員が同じ視点で振り返ることができる評価項目を明確にし、職員による保育のバラつきをなくすことに取り組んでいきます。

## 1. 施設運営

### (1) 児童の処遇

#### ① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
あんず	1歳	3	12	
かりん	2歳	2	12	
ぶどう	3歳	1	12	
りんご	4歳	1	12	
さくら	5歳	1	12	

#### ② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290日
24	22	25	26	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	25	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・毎日(登園時・午睡前後)、園児の体調を把握。午睡明けは検温を行う

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・予防接種の呼びかけを行い、事前に感染症拡大を防止する

#### iii. 安全と事故防止

- ・施設内外部点検(月1回)
- ・保育環境の整備(棚や壁などの角に安全ガード、クッションなどを設置)
- ・ヒヤリハット、メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い再発防止に努める
- ・SIDSの防止(午睡時睡眠チェック 1～2歳児…10分間隔、3～5歳児…15分間隔)
- ・監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・手洗い指導、歯磨き指導(年1～2回実施)

#### v. 環境衛生

- ・毎日保育室や玩具の清掃、消毒を行う

### 年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	年2回(全園児)
耳鼻科健診	
眼科健診	
ぎょう虫検査	
視力検査	
歯科健診	年2回(全園児)
尿検査	

### ④ 保育指針

保育園に集うたくさんの親や子どもが 小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と暮らす知恵と力を身に付けます。そのためにひまわりの

保育園は「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場を作ります

⑤ 各組の保育目標

**さくら組(5歳児)**

- \*一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し達成感や喜びを味わう
- \*身体や栄養、病気に関心を持ち、健康や安全などの生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に行動する
- \*体験したことや十分の重いを相手に分かるように道筋を立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる
- \*運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

**りんご組(4歳児)**

- \*十分に自己発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
- \*できることを喜びながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける
- \*人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
- \*様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようにする

**ぶどう組(3歳児)**

- \*自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
- \*生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。
- \*身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地良さを味わう
- \*生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に遊ぶ

**かりん組(2歳児)**

- \*自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる
- \*大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。
- \*身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう
- \*生活や遊びの中で、身体を動かすことを十分に楽しむ

**あんず組(1歳児)**

- \*保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- \*生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基盤となる力を育む。

⑥ 主な年間行事予定

月例行事	避難訓練・身体測定・世代間交流
4月	入園進級お祝い会・保護者会
5月	こどもの日の集い・田植え遠足・給食試食会
6月	個別面談・保育参加月間(幼児)
7月	七夕・お泊り保育・水遊び・保育参加月間(乳児)
8月	水遊び
9月	親子自然体験・地域祖父母交流会・保護者会
10月	運動会・さつまいも掘り
11月	個別面談(1～4歳児)・保育参加月間(乳児)
12月	個別面談(5歳児)クリスマス会・もちつき会・保育参加月間(幼児)
1月	お遊戯会
2月	節分の会・保護者会・保育参加月間(全園児)
3月	ひなまつりの会・お別れ遠足・お別れ会・卒園式

⑦ 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食生活を通して、自ら健康を育める子ども」

「食」は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期に最も大切な栄養を摂取し健康な身体づくりをするとともに、食習慣の獲得と促し、生きる力の基礎を培う

ii. 栄養管理

献立会議に参加、及び栄養摂取量表で確認をする

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみにしあう子どもが成長していくことを期待するもの。そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達への興味を引き出すことを食育の目的とし、毎日食育をベースに企画する食育活動を加えて展開する。

iv. 衛生管理

日々、日常点検表と業務完了届けを通して、実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	530	20.0	17.5	230	2.2	150	0.28	0.32	18

vi. その他

アレルギー食対応児; 2歳児 1名(豆乳)・3歳児 1名(グレープフルーツ)

⑧ 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (年2回)

非常災害時の避難訓練 (月1回)

引き渡し訓練 (9月1日)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	13名	内非常勤5名
調理員(栄養士含)	2名	
看護師	1名	(非常勤)
用務員	0名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	4名	

② 健康管理

健康診断 年1回(7~10月)

細菌検査 年12回

\*給食担当は 年24回

③ 職員会議

職員会議 年12回

乳幼児会議 年12回 、クラス会議 年12回  
標準化会議 週1回

④ 研修計画

保育の資質向上を目指す園内研修

職員個別に研修計画を策定

行政や保育団体の研修に参加

法人内研修、事業部等主催の研修に参加

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

(2) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

固定遊具なし

(3) 備品関係

① 備品購入予定

職員ポロシャツ、

② 保育用品購入予定

カラー帽子・運動用品・玩具・絵本・紙芝居

③ 給食用品購入予定

食器類・調理器具

④ 固定資産物品購入予定

特になし

(4) 災害対策

① 避難訓練

年12回実施 (地震または火災を想定)

引渡し訓練実施(9月)

② 防災設備の点検委託  
年2回実施(9月・3月)

③ 非常食糧の備蓄  
(全児童+全職員数)×3食×3日分  
消費期限点検(概ね4月・9月実施)

### 3. 保護者へむけて

#### (1) 保育への理解と協力の促進

##### ① 保育参加

目的; 子ども達の生活や遊びを保護者に伝える機会として、実際に保育に入ってもらいながら保育・子育てへの理解を得る

実施時期; 随時実施。また、6月・7月・11月・12月・2月は保育参加月間として設定している

##### ② 誕生会への参加

目的; 子どもの誕生日当日または近い日に、その児だけの誕生会を行なう。

保護者には保育参加に来てもらい、子どもの成長を実感してもらう。

また、生まれた日などのエピソードや子どもへの感謝等を伝える日にしていただく

##### ③ 保護者会

・保護者会(4月・9月・2月)…

4月の保護者会は保育理念・保育方針・保育目標をもとに、園の価値観を伝える場とする。また、時期に合わせて子どもの成長に伴って表出する姿や発達段階等を分かりやすく伝え、子育ての協同意識を高めてもらう。

・給食試食会(年1回)…ひまわりの「食」に対する思いや食事へのこだわりを伝える

##### ④ 通信(お便り)

園だより・クラスだより・保健だより・給食だより…月1回発行

その他(行事のお知らせなど)…必要に応じて発行

##### ⑤ 第三者評価の実施

### 4. 地域社会との連携

・町内会加入

・近隣との交流

・小学校の学校公開や交流会の参加



社会福祉法人ひまわり福祉会 平成 31 年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン小茂根

はじめに

区内私立園での経験を持つ既卒の職員1名、当園で保育実習を実施した養成校から新卒者1名が入職します。姉妹園からの異動者1名を含め新たなメンバーを迎えて新年度の保育をスタートします。

昨年度の中で対話を大切にしながらチームづくりを進める中で、一人一人が主体的に保育に取り組むチームに近づいてきました。主任の異動を含め常勤職員の3分の1が変わりますが、昨年度の経験を生かして、新しい職員との信頼関係を作りながら、チームとしてさらに向上したいと思います。さらに今年度は講師を招いて「保育環境」について継続して学ぶ機会をもち、ひまわりの保育を実践する保育環境、保育内容について整理し実践に生かします。また、学童期の成長発達に見通しを持った保育が行なえるよう、引き続き同法人の学育事業「あいキッズ」と連携や交流を図りたいと思います。

施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
にじ	0歳	2	6	
ほし	1歳	2	7	
そら	2歳	2	8	
もり	3歳	1	15	
うみ	4歳	1	15	
たいよう	5歳	1	14	

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290日
24	22	25	26	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	25	

### ③健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- i. 日常養護・健康管理
  - ・健康管理カードをもとに個々の健康観察と管理
  - ・看護師による日々の巡回と子どもの視診を定期的に行い健康状況の把握を行う。
- ii. 病気の予防と早期発見
  - ・園の玄関前に電解水を置き、来訪者には必ず除菌・消毒を行って入室頂く。
  - ・感染症が発症した際には、掲示等で保護者へ知らせ注意を促す。
- iii. 安全と事故防止
  - ・学校110番の設置。
  - ・家具等は点灯防止具をつける。柱、角の部分には保護ガードをつける。
  - ・事故防止マニュアルを確認し、安全策を図る。
  - ・ヒヤリハット・メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い再発防止に努める。
  - ・SIDSの防止(午睡時睡眠チェック 0歳児5分毎、1,2歳児10分毎、3歳児以上15分毎)
  - ・監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する。
- iv. 健康増進と保健指導
  - ・保健だよりを毎月発行し、健康情報や保健指導を行う。
- v. 環境衛生
  - ・害虫駆除は年に2回業者へ委託。
  - ・午睡用布団の丸洗い、乾燥を定期的に行う。
  - ・玩具消毒を電解水で行う。
  - ・業者によるトイレクリーニングを年1回実施する。

#### 年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	
眼科健診	
視力検査	
歯科健診	全園児年2回
尿検査	

#### ④保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

#### ⑤保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

#### ⑥各組の保育目標

##### たいよう組(5歳児)

- ・一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう。
- ・身体や栄養、病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけ見通しを持って主体的に行動する。
- ・体験したことや自分の思いを相手に分るように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

##### うみ組(4歳児)

- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。
- ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。
- ・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる。

##### もり組(3歳児)

- ・自己主張をしながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
- ・生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地良さを味わう。
- ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。

### そら組(2歳児)

- ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう。
- ・生活や遊びの中で、身体を動かすことを十分に楽しむ。

### ほし組(1歳児)

- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。

### にじ組(0歳児)

- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む。
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む。

## ⑥主な年間行事予定

月例行事	誕生を祝う会
4月	入園・進級お祝い会・こどもの日の集い
5月	田植え遠足・給食試食会・保護者会
6月	個別面談(全園児)
7月	七夕・お泊り保育・農業体験(5歳児)
8月	プール・卒園児交流
9月	引渡し訓練・親子自然体験(4,5歳児)・祖父母交流会・保護者会
10月	運動会・さつま芋掘り(4,5歳児)
11月	個別面談(0～4歳)・5歳児交流運動会(地域7園)
12月	おゆうぎ会・クリスマス会・餅つき会
1月	個別面談(5歳)
2月	節分・お楽しみ食堂・保護者会(0～4歳)
3月	ひなまつり・お別れ遠足・お別れ会・卒園式・5歳保護者会

⑦食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験をを通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していくことを期待するものです。  
そのために乳幼児期は食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出すことを食育の目的とし毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々、日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	562	21.7	19.9	218	2.1	252	0.34	0.35	37

vi. その他

離乳食:初期食 1名 中期食 3名 後期食 2名 完了食 0名  
アレルギー対応児: 3名(鶏卵・乳)

⑧ 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (4月・9月・3月)

非常災害時の避難訓練 (月1回)

引き渡し訓練 (9月 1日)

不審者対応訓練 (年2回)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	9名	
調理員(栄養士含)	4名	
看護師	1名	(非常勤)
用務員	0名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	9名	(うち資格者7名)

② 健康管理

健康診断 年2回(6月・12月)

歯科検診 年2回(6月・12月)

細菌検査 年12回

\*給食、24回

③ 職員会議

・職員会議:12回

・乳児会議:12回

・幼児会議:12回

④ 研修計画

- ・個別に研修計画を策定(年間でつきたい力)
- ・行政主催の研修へ参加(年間計画に基づき個々に必要なスキルを身につける)
- ・保育団体主催の研修へ参加
- ・法人、事業部等主催の研修への参加
- ・園内研修

2.施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

- ・施設における現金の管理は経理規定に従って行う。
- ・現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行う。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行う。

- ・延長保育料金等については、毎月末日締めとし翌月初めに請求書を発行し口座より引き落とす。
- ・給食に関しては、委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。
- ・嘱託医への支払いは契約書をもとに行う。

## (2) 設備関係

### ①ワイヤレス型ドアホンの設置

## (3) 備品関係

### ① 備品購入予定

- ・特に無

### ② 保育用品購入予定

- ・絵本・玩具・運動用品・保育教材等

### ③ 給食用品購入予定

- ・食器・調理器具等

### ④ 固定資産物品購入予定

- ・給食用ワゴン

### ⑤ リース機器交換・新規契約

- ・特になし

## (4) 災害対策

### ① 避難訓練

- ・年間12回実施。(年1回保護者への引き渡し訓練実施)

### ② 防災設備の点検委託

- ・防火設備点検:年間2回実施(9月・3月)
- ・消防設備点検:年間1回実施(未定)

### ③ 非常食糧の備蓄

- (全児童+全職員数)×3食×3日分
- 消費期限点検(4月・9月 実施)

## 3.保護者へむけて

### (1) 保育への理解と協力の促進

#### ① 保育参加

- ・子ども達が園でどの様に過ごしているのか、また、クラスでの様子(友達や保育士との関わり等)などを知ってもらうことや、保育の準備や片付け等保育士の仕事を体験してもらうことで、保育園への理解を深める為に保育参加への呼びかけを行っている。
- ・今年度は各年令の成長を理解してもらえるよう、企画した内容(遊び、日程)で行いたい。

・年2回(6月・11月)保育月間を設けたが、基本的には随時参加可能である。

② 保護者会

・クラスの保護者会は年に4回開催。

第1回目は入園進級お祝い会後に全体保護者会を行い、「園のしおり(重要事項説明書)」に沿って説明、2回目以降はクラス単位で行い、1年間の保育目標を伝え、子どもの発達の見通しを持ってもらう。アンケートや連絡帳から保護者が“今子育てで悩んでいる事”や“聴きたい内容”を分析し、テーマを決め開催する。また、開始時間についても参加しやすい時間帯を考慮して二部制にして行なう。

③ 通信(お便り)

・月1回:園だより・クラスだより・保健だより・給食だよりを発行。

その他、行事毎におたよりを発行。

4.地域社会との連携

- ・町会への加入。
- ・小学校やあいキッズ(放課後事業)との交流。
- ・高齢者施設への訪問、交流。
- ・近隣保育園との交流。特にBR 小竹向原との交流や合同行事の開催

5.その他

- ・第三者評価を受診



はじめに

昨年度は主任をはじめとした職員構成が大きく変わり、新たなチーム作りとなる1年でした。「一つひとつ意図や目的を確認しながらひまわりの保育の実践を目指します」とし、「何故・何の為に」を確認しながら様々なことに取り組んでまいりました。しかし、年度内に二件の重大事故を起こしてしまい、本来揃えなければいけないところの「何故・何の為に」が確認できていなかったこと、その為に担保されなければならないはずの「安心・安全」な環境を整えられていなかったことに気付かされた一年でした。

今年度は、職員一人ひとりが役割に基づいた行動をし、コミュニケーションをしっかりとりながら利用者にとっても職員にとっても「安心・安全」な保育園を取り戻す一年にしていけるように致します。

## 1. 施設運営

### (1) 児童の処遇

#### ① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
月組	0歳	3名	8	
星組	1歳	3名	12	
空組	2歳	3名	14	
波組	3歳	1名	19	ダウン症児1名
虹組	4歳	1名	19	
光組	5歳	1名	20	

#### ② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290日
24	22	25	26	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	25	

#### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組めます。

- i. 日常養護・健康管理
  - ・登園時 0 歳児は園内で検温し、その日の健康状態を保護者保育士双方で確認しお預かりする。
  - ・前日夜から当日の朝までのご家庭での様子は、連絡帳を通して家庭より引き継ぎをする。(0 歳～2 歳児は園での様子も連絡帳に記載)
  
- ii. 病気の予防と早期発見
  - ・感染症予防は手洗い・うがいが基本ととらえ、子ども達にも指導を行う。
  - ・感染症が発生した際には、保護者に掲示し感染防止に協力を願います。
  - ・感染症多発しやすい季節には、来園者には玄関での(アルカリ水と酸性水)手指を実施。
  - ・SIDSの予防の周知、睡眠チェックの徹底  
(0 歳児:5 分毎、1～2 歳児:10 分毎、3 歳児～:15 分毎)
  
- iii. 安全と事故防止
  - ・学校 110 番の設置
  - ・玄関ドアはモニターで確認しオートロック開閉
  - ・首から上(頭部)の怪我等は園医の受診を行っている。
  - ・津波避難対策としてマンション上層階への避難経路確保。
  - ・安全委員会を中心にヒヤリハット、メッセージグレードや事例を通して職員研修を行い事故防止に努める。
  
- iv. 健康増進と保健指導
  - ・園医による歯磨き指導(年間 1 回)
  - ・看護師による手洗い指導(年間 2 回、その他必要に応じて実施)
  - ・年間で薄着を勧め、子ども達が自ら体温調節を行えるからだづくりを行う。
  
- v. 環境衛生
  - ・遊具が子どもの口に入る事を考慮し消毒は薬品を使用せず、電解水(アルカリ水・酸性水)を活用する。(0 歳児クラスは毎日、その他のクラスでは毎週実施。)
  - ・手洗い後はペーパータオルを使用。
  - ・0 歳児は布オムツを使用。(使用後のオムツは業者に除菌洗濯を依頼)
  - ・害虫駆除(年間 2 回)
  - ・事業者による年1回のトイレクリーニング、エアコンクリーニングの実施。

## 年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月 1 回)、1 歳児以上(年 1 回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
視力検査	4 歳、5 歳児(看護師による簡易検査を年 2 回)、視力スクリーニング検査(園医による)
歯科健診	年 2 回
尿検査	実施なし

### ④ 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一人として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### ⑤ 各組の保育目標

#### 光組(5歳児)

- ・一つの目標意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目標に向かって協力し、達成感や喜びを味わう
- ・身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する
- ・体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道を立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整使用とする。

#### 虹組(4歳児)

- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
- ・できるように喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な生活習慣を身につける
- ・人の話に興味を持って話したり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる

#### 波組(3歳児)

- ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする
- ・生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう
- ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する

#### 空組(2歳児)

- ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを知る
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことを自分でしようとする
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう
- ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ

#### 星組(1歳児)

- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基盤となる力を育む

#### 月組(0歳児)

- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む

### ⑥ 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、0歳児健診、避難消火訓練、保育参加
4月	入園式、保護者会、田植え遠足
5月	防災引渡し訓練、端午の節句、給食試食会、個別面談
6月	個別面談、お泊り保育(5歳児)、乳児親子ふれあいデー、水遊び開始、
7月	七夕、
8月	水遊び
9月	保護者会、親子稲刈り遠足(4歳・5歳)、祖父母交流
10月	芋ほり遠足(幼児)、
11月	
12月	お遊戯会、クリスマス会、もちつき(鏡餅作り)、個別面談
1月	個別面談
2月	節分、お別れ遠足(5歳)
3月	ひな祭り、、お別れ会、卒園式

⑦ 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験をを通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる事を楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していく事を期待するものです。そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出す事を食育の目的とし、毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	562	21.7	19.9	218	2.1	252	0.34	0.35	37

vi. その他

冷凍母乳の受け入れと提供  
離乳食 初期0名 中期4名 後期3名  
アレルギー児対応 3名

⑦ 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (年2回)

非常災害時の避難訓練 (毎月20日頃)

引き渡し訓練 (5月15日)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	11名	
調理員(栄養士含)	3名	給食業務委託
看護師	2名	(うち非正規職員1名)
用務員	1名	
嘱託医	2名	(非常勤)
非正規職員	7名	(うち有資格者4名)

② 健康管理

健康診断 年2回(7~11月に実施)

細菌検査 年12回

\*給食調理担当は24回

③ 職員会議

職員会議(毎月月末に実施)……次月給食・保健に関する事とミニ知識の学習。乳児・幼児会議報告事項と全体周知事項報告。行事に関する連絡。保育過程を活用しての学び。事例研修も含む。

標準化会議(第3週に実施)……園運営に関して必要な情報の集約会議。考え方のばらつきを無くし、園における課題を認識し、意図に沿った行動作業の見直し・検討・提案を行う。

乳児会議・幼児会議 ……主に保育面での前月の振り返りと次月の目標の確認  
乳児全体で統一した方が良い事項の検討・提案・確認の場

クラス会議 ……乳幼児会議を受けて、各クラスでの取り組み課題や今後の行事の参加に向けての確認と検討会議。子どもの発達を考慮した次月の取り組み目標設定会議

昼礼 ……午前中の子どもや保護者に関する遅番に引き継ぐ事項  
(怪我・体調・延長利用者確認・明日の献立確認)

④ 研修計画

職員個別に研修計画を策定

行政主催の研修参加

保育団体主催の研修に参加

法人、事業部等主催の研修への参加

園内研修

他園との交流、見学を実施し保育の視野を広げる。

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

・施設における現金は経理規定に沿って管理を行う

・現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行う

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

・毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行う。

・延長保育利用料金等については、毎月月末締めとり、翌月はじめに請求書を発行し  
徴収、領収書を発行して管理を行う。

・給食に関しては委託事業者と契約を行い毎月の支払とする。

・嘱託医への支払いは契約書をもとに行う。

(2) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

固定遊具特になし

施設整備点検は毎月行う

② 修繕予定

事務所保育室床修繕

(3) 備品関係

① 備品購入予定

特になし

② 保育用品購入予定

絵本(東雲文庫)、玩具、

③ 給食用品購入予定

給食器具全般

食器こども用

④ 固定資産物品購入予定

特になし

(4) 災害対策

① 避難訓練

年間 12 回実施（保護者参加の引き渡し訓練を 1 回実施）

津波対策としてマンション上層階への非難訓練

② 防災設備の点検委託

年間 2 回実施（7月・1月）

年1回 特殊建築物定期検査実施

年 1 回 防火対象物点検

③ 非常食糧の備蓄

（全児童＋全職員数）×3食×3日分

消費期限点検（4月実施）

3. 保護者へむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

- ① 保育参加…全園児の保護者を対象に一日保育参加を実施します。子どもが園で過ごす 1 日を（保育時間）参加していただきます。保育参加を通して、登園から降園までの子どもの様子や他児との関わり、保育士との関わり等を見ていただき、ひまわりの保育への理解や連携及び問題点の共有、子育ての相談等を行う最良の機会ととらえます。
- ② 保護者会…全体の保護者会は 4 月と 9 月に、個別面談は 5～6 月と 12～1 月に実施いたします。その他保護者が気軽に参加し、子育ての悩みを先輩保護者からアドバイスをもらう等、子育て支援とクラスの壁を越え保護者同士の関係構築をねらいにしています。
- ③ 通信（お便り）…園便りクラス便り（毎月発行）その他必要があれば不定期で発行。毎月の行事の他、園の保育方針を盛り込んで園長のコラム、各クラスの前月の子どもの姿と当月の保育目標を掲載。その他連絡事項や、保護者に読んでいただきたいおすすめ図書も紹介。
- …保健便り（毎月発行）流行しそうな子どもの感染症に関する情報や、こども達の生活（睡眠時間、虫歯、視力等）に関する情報を記載。園全体の感染症予防を啓蒙。
- …給食便り（毎月発行）ひまわりの食に関する考え方を掲載。その他郷土料理や人気のレシピなども公開予定。
- …保護者の皆様（随時）HP で園外保育での様子や、緊急時の園での様子等随時必要に応じて園長が更新する。



#### 4. 地域社会との連携

近隣の認可、認証、認定こども園や小学校、キャナルコート内の学童やデイサービス、店舗等と連携をはかり、地域での子育て支援の拠点になります。ひまわりキッズガーデン東雲がキャナルコートでもわかりにくい位置にありますが、育児講座等魅力的な内容を企画し子育て親子が足を運ぶ機会を増やし、子育て親子のパートナーを目指します。

#### 5. その他

第三者評価を受審致します。

掃除の行き届いた状態を維持し続け、利用者や見学者からも一定の評価を受けています。

はじめに

一昨年度より職員の視点を揃えることが重要課題だと認識し、視点を揃えるために、まず是对話を通して立場を問わずコミュニケーションを図ることを基礎にチーム作りに取り組んできました。現状、リーダー層の視点は揃ってきたものの職員一人ひとりへの伝え方にはまだまだ工夫の余地がある状態です。

31年度からは、園長、主任が変更となり職員も大幅な入れ替えを行い、新たなチーム作りを行っていきます。「こどものために」を考え方の基準とし、常に自分の行動の意図を考え、目的を持って保育できるようにしていくと共に、リーダー層が組織価値観を統一していく事で職員に考え方を浸透していき、子ども職員も保護者も安心できる保育園にしていきたいと考えています。また、豊洲地域の中でも10年かけて地域との密接な関係を築いてきたことを強みと考え、今後も地域とのより良い関係性づくりを継続していけるように取り組んでいきたいと思ひます。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
つき組	0歳	3名	9名	
ほし組	1歳	3名	13名	6ヶ月早産児1名
そら組	2歳	3名	18名	卵アレルギー児1名
なみ組	3歳	1名	18名	発達遅滞児1名
にじ組	4歳	1名	18名	
ひかり組	5歳	1名	16名	空き2名 手帳3級所持児1名

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290 日
24	22	25	26	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	25	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・連絡帳や朝の視診、保護者からの情報をもとに子どもの状態を観察
- ・登園時0歳児は園内で検温し、その日の健康状態を保護者保育士双方で確認しお預かりする。
- ・0歳児は付きに2回、1歳以上は月1回の身体測定を行い子どもの発育及び発達状態を定期的に把握していく。

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・保育中に体調不良や怪我等が発生した場合には、その子どもの状態に応じて早期に保護者に連絡を行う。
- ・嘱託医をはじめ、医療関係機関や保健所との連携を必要に応じて行う
- ・朝や午睡明けの看護師による巡回
- ・睡眠表による睡眠チェックを行う  
(0歳児 5分おき、1～2歳児 10分おき、3～5歳児 15分おきに個別確認)

#### iii. 安全と事故防止

- ・家具は転倒防止器具を付ける。また、階段には折り返し先が見えるよう、2階と3階のおどり場には鏡をとりつけている。
- ・不審者対応として学校110番を設置
- ・監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・0歳児は月に2回、1歳以上児は月に1回身長、体重測定を行うと共に、定期的に健康診断を行い健康記録カードにて保護者に連絡し、保護者が子どもの状態を理解し、日常生活に活用できるようにする。
- ・手洗い・うがい、トイレの使い方、歯の磨き方指導を行う

#### v. 環境衛生

- ・玄関前にアルカリ・酸性水を設置し、入室前に手指消毒を行う。また、小さな子どもが口にする可能性も考え、玩具等の洗浄を行っている。
- ・毎年、専門業者によるトイレクリーニングを行なっている。
- ・手洗い後はペーパータオルを使用
- ・害虫駆除(年間2回)

## 年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
視力測定	4歳児・5歳児(看護師による簡易検査を年2回)
歯科健診	全園児(年2回)
尿検査	実施なし

### ④ 保育指針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### ⑤ 各組の保育目標

ひかり組(5歳児)・一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向って協力し、達成感や喜びを味わう。

- ・身体や栄養、病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に行動する。
- ・体験したことや自分の思いを相手に分るように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

にじ組(4歳児)・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。

- ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。

- ・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる。

- なみ組(3歳児)
- ・自己主張をしながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
  - ・生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。
  - ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地良さを味わう。
  - ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。

- そら組(2歳児)
- ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。
  - ・大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。
  - ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう。
  - ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ。

- ほし組(1歳児)
- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
  - ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。

- つき組(0歳児)
- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む。
  - ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む。

⑥ 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会・消火・避難訓練・災害用伝言ダイヤル訓練
4月	入園式・保護者会、田植え遠足(4・5歳児)
5月	端午の節句を祝う会・引渡し訓練・給食試食会
6月	個別面談・個別面談(乳児・幼児)・お泊り保育(5歳児)
7月	七夕
8月	プール・水遊び、夏祭り
9月	稲刈り遠足(4・5歳親子)・敬老お祝い会
10月	お楽しみ会・芋ほり遠足
11月	保護者会
12月	お遊戯会・クリスマス会・もちつき
1月	保育参加・個別面談(5歳児)
2月	節分・遠足(5歳児)
3月	雛祭り・おわかれ会・卒園式

⑦ 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験を通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる事を楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していく事を期待するものです。そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出す事を食育の目的とし、毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	562	21.7	19.9	218	2.1	252	0.34	0.35	37

vi. その他

初期(1名)、中期(1名)、後期(5名)、完了(0名)

アレルギー児対応(1名)

⑧ 安全管理

非常災害時の避難訓練(毎月1日)

引き渡し訓練(5月)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	11名	
調理員(栄養士含)	3名	業務委託
看護師	1名	
用務員	2名	業務委託
嘱託医	2名	非常勤
事務員	1名	
非正規職員	6名	

② 健康管理

健康診断 年1回(7月~10月)

細菌検査 年12回

\*給食担当は、年24回

③ 職員会議

乳児会議(年12回)

幼児会議(年12回)

標準化会議(週 1 回)

職員会議(年12回)

④ 研修計画

職員個別に研修計画を策定

行政や保育団体主催の研修に参加

法人、事業部等主催の研修への参加

園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

施設における現金の管理は経理規定に従って行なう。

現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行なう。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

・ 毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行なう

・ 延長保育料金等については毎月末締めとし翌月初めに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行なう。

・ 給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。

・ 嘱託医への支払いは契約書をもとに行なう。

(2) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

固定遊具特になし

② 修繕予定

・園庭整備

・床暖房修理

・園内各種改修工事

(3) 備品関係

① 備品購入予定

4. 5歳児園児イス36脚

② 保育用品購入予定

・絵本、玩具



- ③ 給食用品購入予定  
・食器

- ④ 固定資産物品購入予定  
予定なし

(4) 災害対策

- ① 避難訓練  
年間 12 回実施（保護者参加の引き渡し訓練を 1 回実施）
- ② 防災設備の点検委託  
年間 2 回実施
- ③ 非常食糧の備蓄  
(全児童＋全職員数) × 3 食 × 3 日分  
消費期限点検（4 月実施）

3. 保護者へむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

- ① 保育参加  
保育の体験を通して、集団の中での子どもの様子を知り、保育内容への理解を深めてもらう機会とする。  
随時実施
- ② 保護者会（4月1回、11月1回）（6月個別面談、5歳児は2月にも実施）  
4月…1年間の運営の方針、保育計画、予定、子どもの育ちについて  
6月…入園、進級し3ヶ月を過ぎた時点での家庭と保育園の情報交換  
11月…乳児・幼児3クラスずつ合同で行い、半年を経過しての子ども様子および今後の見通しについて  
1月…5歳児が対象。小学校就学へ向けて
- ③ 通信(お便り)  
園だより(月に1回)…園全体や地域に関わる情報などを発信する。  
乳幼児だより(月に1回)…学年毎の発達、育児情報、お知らせ、お願いなどを発信する。  
ほけん便り(月に1回)…保健に関する情報を発信する。

給食だより(月に1回)…乳幼児期の食生活について園と家庭の架け橋となる内容を発信する。

一時保育だより(月に1回)…一時保育利用者に向けて園行事や育児情報を発信する。  
(現在、休止中。)

4. 地域社会との連携

5歳児と近隣の認可保育園5園との交流

5歳児と学童クラブ、キッズクラブとの交流

幼児クラスと高齢者施設との交流

地域のイベントへの参加(マーチング、運河ルネッサンス協議会)

5. その他

保育ワンデークリニック、第3者評価受審

職員人員不足により、平成29年10月より一時保育事業を休止しています。

社会福祉法人ひまわり福祉会 平成 31 年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン有明

はじめに

平成 31 年度は職員の入替わりがありますが、これを良い機会と捉え、昨年度までに積み上げてきた業務整理や保育の見直しが、新しい職員にも伝わるような仕組みを作ります。その上で、一人ひとりの職員の成長とチーム力向上に力を入れ、組織図をしっかりと機能させるべく、リーダー層が活躍できる場を積極的に作り、人材育成に力を入れます。そのよいチームワークの基で、保育環境の見直しを続け、職員一人ひとりがやりがいを感じながら保育することができるように、また、職員自身が安心して保育ができる保育環境を構成できるように、話し合う時間を今年度も大切にします。ひまわりの保育で大切にしたいことを発信しながら、子どもたちはもちろん、保護者も、そして職員も安心して利用できる(働くことができる)園づくりに力を入れます。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
つき組	0 歳	3 名	9 名	
ほし組	1 歳	3 名	15 名	
そら組	2 歳	4 名	24 名	
なみ組	3 歳	2 名	24 名	
にじ組	4 歳	1 名	24 名	
ひかり組	5 歳	1 名	24 名	ダウン症男児1名

② 月別保育予定日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計 290 日
24	22	25	26	26	23	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
25	24	24	23	23	25	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・ 0歳児…登園時の検温。その日の健康状態を保護者と保育士が双方で確認した後の受け入れ。
- ・ 家庭での様子を連絡帳の記述で確認。0～2歳児は園での様子を連絡帳に記載し、保護者と共有。
- ・ 登園時の視診、健康観察による子どもの体調の把握。
- ・ 0歳児は5分、1～2歳児は10分、3歳児～15分ごとの睡眠チェック。
- ・ 午睡後の検温、看護師による巡回での子どもの体調変化の把握。
- ・ 子どもの様子を共有する職員間の引継ぎ。

#### 病気の予防と早期発見

- ・ 職員、子どもの手洗い、うがいの励行と健康指導。
- ・ 感染症発生時の掲示等による保護者への迅速な周知と、感染拡大の防止。
- ・ 感染症多発期の、来訪者への電解水(アルカリ水、酸性水)での手指消毒実施。
- ・ SIDS予防の周知。

#### ii. 安全と事故防止

- ・ 学校110番の設置。
- ・ 玄関ドアの常時施錠。来訪者モニター確認後の解錠とオートロック施錠。
- ・ 家具転倒防止器具設置。
- ・ 津波避難対策としてのマンション上層階への避難経路確保と訓練。

#### iii. 健康増進と保健指導

- ・ 薄着の励行
- ・ 年間保健計画に基づく看護師による保健指導

#### iv. 環境衛生

- ・ 安全な電解水(アルカリ水・酸性水)による清掃と消毒。
- ・ タオル等の共有をせず、使い捨てペーパータオルを使用。
- ・ 床、トイレ清掃(1日2回実施)
- ・ 玩具消毒(0歳児用毎日、他週1回)
- ・ 午睡用コット使用(1歳児～)
- ・ ゴキブリ駆除(年2回)

## 年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月2回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
視力検査	4、5歳児(看護師による簡易検査を年2回)
歯科健診	全園児(年2回)
尿検査	実施なし

### ④ 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に

「受容性」から「好奇心・探求心」へ

さらに「主体性」をもって成長する子を育みます。

### ⑤ 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「観る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### ⑥ 保育目標

和と輪と話を実践する子ども

- ・ 心の安定を基盤に、主体的に活動する子ども
- ・ 好奇心・探究心旺盛で、五感を使い生き生きと遊ぶ子ども
- ・ 互いの違いを認め合い、尊重し協力し合う子ども

### ⑦ 各組の保育目標

#### ひかり組(5歳児)

- ・ 一つの目的意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう。
- ・ 身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する。
- ・ 体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・ 運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

#### にじ組(4歳児)

- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。
- ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。
- ・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる。

#### なみ組(3歳児)

- ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
- ・生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう。
- ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。

#### そら組(2歳児)

- ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことを自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう。
- ・生活や遊びの中で、身体を動かすことを十分に楽しむ。

#### ほし組(1歳児)

- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。

#### つき組(0歳児)

- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む。
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む。

主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、0歳児健診、避難消火訓練
4月	入園式、進級式、保護者会、田植え遠足(4、5歳児)
5月	防災引き渡し訓練、端午の節句、給食試食会
6月	個別面談、お泊り保育(5歳児)
7月	七夕
8月	水遊び
9月	親子稲刈り遠足(4、5歳児)、敬老お祝い会、保護者会
10月	芋ほり遠足(幼児)
11月	個別面談
12月	お遊戯会、クリスマス、もちつき(鏡餅作り)
1月	個別面談(5歳児)
2月	節分、お別れ遠足(5歳児)
3月	ひなまつり、体操発表会(幼児)、お別れ会、卒園式

⑧ 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食体験を通して、自らの健康を育める子ども」

食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議への参加、及び栄養摂取管理表での確認を行います。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる事を楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していく事を期待するものです。

そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出す事を食育の目的とし、毎日食育をベースに企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々、日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認します。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	562	21.7	19.9	218	2.1	252	0.34	0.35	37

vi. その他

離乳食:初期(2名)、中期(2名)、後期(5名)

アレルギー対応(7名)

⑨ 安全管理

非常災害時の避難訓練 (毎月1日)

引き渡し訓練 (5月15日)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
副園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	13名	
調理員(栄養士含)	4名	給食業務委託
看護師	2名	
用務員	0名	
嘱託医	2名	非常勤
非正規職員	6名	うち有資格者1名

② 健康管理

健康診断 年1回(8~3月に実施)

細菌検査 年12回

\*給食担当 年24回



- ③ 職員会議
  - 乳児会議(年 12 回)
  - 幼児会議(年 12 回)
  - 職員会議(年 12 回)
  
- ④ 研修計画
  - 職員個別に研修計画を策定
  - 行政や保育団体主催の研修に参加
  - 法人、事業部等主催の研修に参加
  - 園内研修

## 2. 施設管理

### (1) 事務関係

- ① 会計事務、管理事務
  - 施設における現金の管理は経理規定に従って行います。
  - 現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行います。
- ② 児童処遇事務(保育、給食、保健)
  - 毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行います。
  - 延長保育料金等については毎月末締めとし翌月初めに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行います。
  - 給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとします。
  - 嘱託医への支払いは契約書をもとに行います。

### (2) 設備関係

- ① 固定遊具の設備点検
  - 固定遊具特になし
- ② 修繕予定
  - 園庭補修計画あり

### (3) 備品関係

- ① 備品購入予定
  - 特になし
- ② 保育用品購入予定
  - 絵本、玩具、運動用品、保育材料等
- ③ 給食用品購入予定
  - 食具、調理器具等
- ④ 固定資産物品購入予定
  - 特になし

(4) 災害対策

① 避難訓練

年間 12 回実施(保護者参加の引き渡し訓練 1 回実施)

② 防災設備の点検委託

年間 2 回実施

\* 特殊建築物定期検査 年 1 回実施

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分

消費期限点検(4 月実施)

3. 保護者へむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

① 保育参加(随時)

保育の体験を通して、集団の中での子どもの様子を知り、保育内容への理解を深めてもらう機会とします。

② 保護者会(年 2 回、個別面談年 2 回(5 歳児は年 3 回))

4 月…1年間の保育計画、予定、子どもの育ちについて

6 月…新年度がスタートし、3ヶ月過ぎた時点での子どもの様子など

11 月…2 クラスずつ合同で行い半年を経過しての子どもの様子、および今後の見通し等

1 月…5 歳児対象、小学校就学に向けて

③ 通信(お便り)

園だより(月 1 回)…園全体や地域に関わる情報などを発信します。

クラスだより(月 1 回)…学年毎の発達、育児情報、お知らせ、お願いなどを発信します。

保健だより(月 1 回)…保健に関する情報を発信します。

給食だより(月 1 回)…乳幼児期の食生活について園と家庭の架け橋となる内容を発信します。

4. 地域社会との連携

5 歳児と高齢者との交流

地域のイベントへの参加(マーチング、チューリップの球根植え)

5. その他

第三者評価を受審予定

はじめに

31年度は新規採用職員3名を加えてのスタートになります。今年度から、園長が変更し新たなチームとしてのチーム作りが重要になってきます。職員の大幅な入れ替えはなく、若い職員も少しずつ経験を積み重ねてきていますので、職員が主体的に運営に参画し、園のめざすべき姿に向けて取り組んでいけるような組織づくりが課題だと認識しています。

近隣にも保育施設が増え、それぞれの特徴を活かした保育が展開されてきています。地域の中でもひまわりの保育の良さを認識していただけるような、情報の発信、地域との連携が必要だと考えています。今後も近隣に大型マンションが建設され、地域人口の増加は見込まれていますので、新たな顧客の獲得のために、保育の質をより高めていけるよう、ひまわりの保育について職員がしっかりと理解し日々の保育で実践していくことが課題になってきています。そのために、まずはリーダー層が中心となって、人材育成に力を注いでいけるようにしたいと思います。

## 1. 施設運営

### (1) 児童の処遇

#### ① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
つき組	0歳	3名	8名	空き1名
ほし組	1歳	3名	15名	
そら組	2歳	4名	24名	
なみ組	3歳	2名	23名	空き1名
にじ組	4歳	1名	23名	空き1名
ひかり組	5歳	1名	23名	空き1名

#### ② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290日
24日	22日	25日	26日	26日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25日	24日	24日	23日	23日	25日	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・ 連絡帳や朝の視診、保護者からの情報をもとに子どもの状態を観察
- ・ 登園時0歳児は園内で検温し、その日の健康状態を保護者保育士双方で確認しお預かりする。
- ・ 0歳児は月2回、1歳以上は月1回の身体測定を行い子どもの発育及び発達状態を定期的に把握していく。

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・ 保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態に応じて早期に保護者に連絡を行う。
- ・ 感染症が予想される時期に、お便りや掲示、電解水の利用等で発生予防に努め、必要に応じて、保健所等に連絡し、その指示に従うと共に保護者や全職員に連絡し協力を求めている。

#### iii. 安全と事故防止

- ・ 保育所内外の安全点検に努め、安全対策の為に職員の体制づくりを行い、家庭や地域の諸機関の協力の下に安全指導を行う。
- ・ 学校110番の設置
- ・ 津波避難対策として上層階への避難経路確保
- ・ 玄関は防犯上、常に施錠
- ・ 防犯カメラの設置

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・ 子どもの健康に関する年間の保健計画を作成し、全職員がそのねらいを理解しながら子どもの健康の保持に努めていく。
- ・ 定期的に健康診断を行い健康記録カードにて保護者に連絡し、保護者が子供の状態を理解し、日常生活に活用できるようにする。

#### v. 環境衛生

- ・ 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持すると共に施設内外の設備及び用具等電解水を利用して清掃し(0歳児クラスは毎日、その他必要に応じて)衛生管理に努める。
- ・ 手洗い後はペーパータオルを使用
- ・ 各部屋に空気清浄機を設置
- ・ 害虫駆除(年間2回)

## 年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	内科健診に含む
眼科健診	内科健診に含む
視力検査	4.5歳児(看護師による簡易検査を年2回)
歯科健診	全園児(年2回)
尿検査	なし

### ④ 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身に付けます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### ⑤ 各組の保育目標

- ひかり組(5歳児)
- ・一つの目的意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう
  - ・身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する
  - ・体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる
  - ・運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする

- にじ組(4歳児)
  - ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
  - ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける
  - ・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
  - ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる
- なみ組(3歳児)
  - ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする
  - ・生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする
  - ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう
  - ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する
- そら組(2歳児)
  - ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる
  - ・大人に見守られながら意欲的に自分のことを自分でしようとする
  - ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう
  - ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ
- ほし組(1歳児)
  - ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む
  - ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む
- つき組(0歳児)
  - ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む
  - ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む

⑥ 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、避難訓練
4月	入園式、保護者会、田植え遠足(4, 5歳児)
5月	端午の節句を祝う会、給食試食会
6月	個人面談、プール開き
7月	七夕の集い
8月	プール
9月	親子稲刈り遠足(4, 5歳児)、敬老お祝い会、運動会(幼児)
10月	芋掘り(3, 4, 5歳児)、親子ふれあいデー(乳児)
11月	保護者会
12月	お遊戯会、エコプロダクツ(5歳児)、もちつき
1月	個人面談(5歳児)、かるたとり大会(5歳児)
2月	節分、お店屋さんごっこ
3月	ひなまつり会、お別れ遠足(5歳児)、お別れ会、卒園式、おもてなし会

⑦ 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験をを通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体づくりをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議への参加

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食にかかわる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していくことを期待するものです。そのために、乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出すことを食育の目的とし、「毎日食育」をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	210	2.3	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	550	21.0	18	280	2.6	160	0.30	0.4	17

vi. その他

離乳食(初期食2名、中期食1名、後期食5名)アレルギー食(卵2名、小麦1名、葡萄1名)

⑧ 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (9月1日)

非常災害時の避難訓練(月12回)

引き渡し訓練(5月15日)

(2) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	14名	
調理員(栄養士含)	3名	
看護師	1名	
事務	1名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	7名	

② 健康管理

健康診断 年1回(9月)

細菌検査 年12回

\*給食は月2回、0歳児調乳担当は年12回(調乳チェック表をつけています。)



- ③ 職員会議  
職員会議年間 12 回  
標準化会議年間 24 回(月 2 回)  
幼児会議 年間 12 回  
乳児会議 年間 12 回
- ④ 研修計画  
職員個別に研修計画を策定  
行政主催の研修参加  
保育団体主催の研修に参加  
法人、事業部等主催の研修への参加  
園内研修

## 2. 施設管理

### (1) 事務関係

- ① 会計事務、管理事務  
園での小口現金は経理規定に沿って管理を行う  
利用者徴収の延長保育料は月末締め翌月初めに請求書を発行し徴収。
- ② 児童処遇事務(保育、給食、保健)  
毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行う。  
延長保育料金等については毎月末締めとし翌月初めに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行う。  
給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。

### (2) 設備関係

- ① 固定遊具の設備点検  
園内設置ののぼり棒は、月 1 回園内の設備点検と共におこなう。

### (3) 備品関係

- ① 備品購入予定  
記録用カメラ、写真保存用ハードディスク
- ② 保育用品購入予定  
乳児、幼児クラス玩具
- ③ 給食用品購入予定  
食器類、調理器具等

④ 固定資産物品購入予定

特になし

(4) 災害対策

① 避難訓練

月に1回実施、消火訓練も併せて行う。

② 防災設備の点検委託

年間2回(7月、2月)

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分

消費期限点検(3月、9月実施)

3. 保護者へむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

① 保育参加

登園から降園までの我が子の様子や他の子どもとのかかわり、保育士とのかかわり等を見ていただき、問題点の共有を行うほか、ひまわりの保育への理解や連携、育児相談を行う為。

開催時期は通年、クラスによって年間の予定表を配布

② 保護者会

4月 各クラスの保育内容、年間目標、行事日程等について

11月 子ども達の成長の姿、子どものトラブルについて

③ 通信(お便り)

園便り(月1回)

子ども達の様子や育児情報など、保護者が知りたい内容について発信する。

ほけん便り(月1回)

子ども達の生活に関する情報を記載。園全体の感染症予防を啓蒙。

給食便り (月1回)

ひまわりの食に関する考え方を掲載。

4. 地域社会との連携

東雲のデイサービスセンターに年間10回訪問し交流を深めていく。

育児講座、保育所体験など園の保育への参加を呼びかけていく。

5. その他

保育ワンデークリニック、第三者評価受審